

西新宿七丁目町会

青年部 ニュース

No.5

部長に再任されて

石川 慶太郎

過日の総会におきまして再び部長の大役をお受けすることとなりました。私といたしましては、青年部の規約に年令制限をもうけておりませんので、この際年令制限をもうけたらと思ひまして、役員会で再三審議を重ねましたところ、青年部発足してまだ日も浅く、もうすこし軌道に乗るまでは、現状のまゝで行くこととなりました。本来ならば私のようなロートルではなく若い力のある方だと思っておりますが。

何しろ浅学非才の身で皆様の御期待に充分添い得ないことと思ひますが、皆様の御理解と御協力によりまして、部長の大任を無事務めさせていただけますようお願いいたします。

なお、下記に当日私ともども選出されました新役員の方々のお名前を記載させていただきました。前任者への御協力感謝いたしますとともに、新役員にも御協力の程、よろしくお願いいたします。

以上

青年部第二期新役員決定!!

役員

部長 石川慶太郎
副部長 桜井聖明

会計

監査

書記

尾沢孝宣
小見山猛
深野一彦
会田友太郎
菅生栄一

部長

総務部員

浅井憲竜
鈴木昭吉
小見山猛
菅生栄一
近藤隆二
鈴木公雄
若山直義
若本久
中村隆一
小林正典

編集部員

部長

中村隆一
浅井憲竜
荒井保次
深野一彦
菅生栄一
近藤隆二
尾沢孝宣
小林正典

ブロック幹事

一、大沢信行 小林正典
二、金丸泰明 小林洋一
三、鈴木昭吉 尾沢孝宣
四、河野洋寿 中村隆一
五、小嶋茂 菅生栄一
六、深野一彦 武藤栄男
七、米橋憲一 籠宮武男
八、恩田尚亮 豊永文夫
九、若山直義 会田友太郎
十、前山勝彦 以上

総会式次

司会	浅井憲電
開会の辞	荒井保次
部長挨拶	石川慶太郎
議長選出	小見山 猛
経過報告	笹生栄一
決算報告	中村隆一
監査報告	深野一彦
事業計画案	桜井聖明
予算案	小林正典
役員改選	新役員発表
新部長挨拶	石川慶太郎
質疑	
閉会の辞	齊藤 満
書記	笹生栄一
懇親会	
司会	若山直義
部長挨拶	石川慶太郎
副会長挨拶	山本豊吉
来賓挨拶	小林秀雄
乾杯	青木徳次
中ジメ	近藤隆二
万才三唱	米橋憲一

昭和四十八年度
青年部第二回総会後記

5 B 笹生 栄一

去る十月二十一日、常
泉院に於いて開催された。
定刻六時三十分、浅井
総務の司会で開会が宣言
されました。
式次に従って荒井副部
長の開会の辞、石川部長
の熱の入った挨拶、一年
間の部員の方々の協力に
感謝の言葉があり
議長に小見山君を選出
名議長振りは昨年御承知
のとうりて議事がスムー
スに進行した。
経過報告、決算報告、
監査報告、事業計画案
予算案(全部の草案は
草稿委員会で作製された
ものです)
続いて任期満了にとも
ない、役員の改選が行わ
れた。
役員会の内定とうりに
承認された。
(本号紙上で発表)
新部長挨拶に移り今後
尚一層の協力を要請した。
閉会の辞で全議事終了
浅井総務の発案で石川明
宏君に対しての一分間の
黙禱を全員で行う。
終了時七時三十分
◎新青連加名問題は会の
主旨、規約等が不明確の
ため役員会に於いて継続
審議とする。
草稿委員会構成は
副部長 一名
総務 一名
会計 二名
書記 一名
以上 五名

総会及び懇親会		決算報告
収入の部	参加申込46名 補助金 計	23,000 62,900 85,900
支出の部	ビール・酒・コーラ 身詰 魚 孝 折 鳥 佐野 焼 飯 くら 赤 場 時 屋 会 費 計	22,050 15,000 27,500 4,800 11,550 5,000 85,900

懇親会に際して次の方
から御寄附を戴きました。
高須町会長 石川部長
林 一夫 佐藤知治
鈴木松之助 井西将夫
小林秀雄 山本豊吉
青木徳治 金丸泰明
新宿区新聞 石川浩安
4 B 中村隆一

6ブロック幹事及び
ラジオ体操指導員
列車名の由来

石川明宏氏遺稿

(3) 1973年11月 町会青年部ニュース №5
その三 中央本線特急
「あづさ」新宿-松本、
昭和四十一年十二月十
二日に生れた名称である。
中央線はその前年七月
に電化が完成したのだが、
何しろ他の幹線に比べ小
さいトンネル、大きな勾
配スイッチバックに単線
と高速運転をはばむ悪条
件が、そろいもそろった
山岳幹線であった。
昭和六年の甲府電化以
来全く手つかずの立ちお
くれ線区であったのを、
第二次五ヶ年計画が始る
や、一番に選ばれて近代
化に着手、種々の難工事
を克服したのち、笹子駅
のスイッチバック解消を
合図にやつのことで生

れたと云ういわくつきの
難産特急なのである。
設定当初は一日二往復
であったが、現在では四
往復まで成長している。
「あづさ」は、漢字で
書くと「梓」となる。
日本アルプスの名勝上
高地を貫流する梓川にち
なんだもので、一般公募
で、信越特急が浅間山の
浅間を採ったのに対し、
こちらは逆に川の名を採
用した。

梓川は、槍ヶ岳に源を
発し、白骨のように池の
中に佇立する杵木郡で知
られる河童橋の下を流れ、
有名な野麦峠につづく野
麦街道に出たのち、松本
電鉄上高地線としばらく

並んで走り、大糸線梓橋
駅の下をくぐって、犀川
を合わせ、北流しながら、
長野市の東で千曲川に合
流し、やがて信濃川とな
って、日本海に注ぐ日本
一の大河の源流でもある。

石川明宏君を悼む

1 B

小見山

猛

あまりにも不意に君が
いなくなってしまった。
私たちは、まだ信じが
たい驚きでなんといい
ようかわかりません。
七丁目青年部が結成さ
れてから二年、君はプロ
ックの役員として本当に
真剣な努力をつみ重ねて
下さいました。
君がラジオ体操を教え
る為に貴重な時間をつい
やしてその資格をとり、
朝早くから子供たちと、

日本一の大河の源流
「あづさ」は、中央本線
の特急にふさわしい愛称
でもある。
この五号は、石川氏の
原稿のみに留めました。
謹んで御霊前に捧げます。
私たちが君の遺志を立
派に生かし、またそれに
こたえていくつもりです。
石川明宏君
心やすらかに眠って下
さい。
君の冥福を部員一同心
より祈っております。

旅行会のお知らせ

7 B 近藤隆二
1 B 小林正典

青年部旅行同好会も、今回第二回目を迎えました。今回は新春一月二十七日(日)二十八日(月)の両日箱根湯本橘荘に一泊旅行する事になりました。前回よりも楽しい一夜を部員の皆様と過ごしたいと思っています。

多数の部員の参加をお待ち致します。

前回の参加人員は二十人でした。今回は三十人以上を目標にしておりますので、重ねて御協力をお願い致します。

日時 一月二十七日(日)

二十八日(月)

行先 箱根湯本 橘荘

会費 一、〇〇〇

申込 各B幹事まで

総会後、盛大な懇親会

4 B 中村隆一

雨天にもかかわらず、部員四十六名、御来賓数十名で懇親会が始まりました。最初に石川部長の力強い挨拶で青年部のあり方と町会の役員ならびに諸先輩に対する感謝の気持を表わされました。非常に寒かったので、酒の売れ口は良いが、ビールは残りそうだと思いましたが、そこは若い青年部員の皆様方、そんなもったいない事は致しません、隣りの人や前の人はもち論、はてはビールと酒を持ち歩き、ついで廻り、歌をうたったり、そこここでディスカッションの輪が拡がり和気あいあいの内、懇親会もお開きとなりました。

編集後記

☆編集長かわるゝ

青年部の新役員が決り名実共に第二期がスタートした。7 B 林一夫副部長が、第一期を務め今度辞任されたことは淋しい。後を7 B、齊藤満前総務が継がれた。外にもP1にある通り人事の異動があった。新役員も生れた。そのなかで会心のヒットは、何と云っても編集長の交替であろう。線香くさい小生から、木の香も新たに元氣一杯の編集長が生れたのだ。高尾山の蝶を追う夢多き好青年である。ご活躍を祈ります。浅井憲竜

編集部員八名どなたが長になられても、このニュースは、いままでのように素晴らしいものと思えます、といえますのは八名の他に文才たけた方々が沢山いらっしゃると思います。少しばかり背が高く、要領が悪い為ならされただけですから。これからも多勢の、色々な趣味、嗜好に関するもの又は町会の出来事などをお寄せ下さい。なるべく、かたよらず、かたくなく、やわらか過ぎずに青年部での役をさせて頂きます。

4 B 中村隆一

発行 西新宿七丁目町会青年部
編集 同 青年部総務部